

# 校長室から

(R7.11月)

～おもいをのせて～

文責：菅 昌徳

## 中学部3年保育実習

11月11日（火）に本校3名、分教室4名の生徒が近隣のこども園で保育体験の実習を行いました。当日は予定が変更され、舞台発表の練習を参観した後2歳児との触れ合いをしました。自己紹介をするときの生徒たちは、緊張感が顔にじみ出てうまく笑顔で話すことができませんでしたが、恐る恐る園児に近付き自分たち



で作ってきた玩具を手渡し、遊び始めると次第に緊張感が解け笑顔で関わることができました。

園児の遊んでいる姿や近付いて話かけてくる姿に「可愛い」「笑ってくれた」などと教師に園児たちとの関わりが楽しいことを伝えてくれました。園児と遊んでいる姿は、生徒たちの純粋でピュアな光がいっぱいであふらしい実習でした。

素敵なお兄さんお姉さんでした。みんなの優しさで心が温かくなりました。

## 小学部交流学習

＜高校生との収穫交流＞



毎年この時期になると児童から「大根の収穫に行くんだ」と高校生との交流を楽しみにしていることを伝えてくれます。今年は11月14日（金）に待ちに待った収穫体験の交流がありました。高校生のお兄さん、お姉さんたちに大根の抜き方を聞きながら収穫をすることができました。短い時間でしたが、話をしたり遊んだりする時間もあり楽しく過ごすことができました。



週明けの月曜日に大根はどうしたのと尋ねると「料理して食べた」と笑顔でこたえってくれました。自分で収穫した野菜、いつも以上に美味しかったことでしょうね。体験をとおして他者に自然と関わる交流は、児童が持っている本質をたくさん表現として見せてくれます。これからもたくさんの体験をとおしてそれぞれの感性をたくさんの人との関わりの中で広げてほしいと願いました。

## ＜壮寿会との交流＞



今年度2回目の交流を11月18日（火）に行いました。児童が何をするかと活動について話し合い役割分担を行いながら事前に準備を進めました。



当日は司会進行を中心に自分の役割に責任をもって取り組みながら壮寿会の方々とどうやったらボールをうまく運べるか、早く運べるかなどを話し合いながらゲームを楽しみました。「今日の交流は楽しかった」と尋ねると「○○さんがやり方を教えてくれたよ」「一緒にうまく運べて楽しかった」などと笑顔で答えてくれました。



自分たちのことを優しく包み込んでくれるような声掛けや手助けに安らぎとぬくもりを感じる時間だったのだろうなと感じました。感じることで内省が育つものと信じています。たくさんの思いが膨らむように交流を深めていってください。

## お知らせ

＜ミライアート（大村市）展表彰＞

全校児童生徒で作り上げた「平和の折り鶴」、2025ミライアート展工芸の部門で大村市長賞に選出されました。

みんなの思いがこもった素晴らしい作品ができました。

おめでとうございます！！

